

ご挨拶

株式会社バルカー
代表取締役会長CEO

瀧澤 利一



令和7年の新春のご挨拶を申し上げます。

読者の皆さまには日頃から本誌をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年当社において不祥事が発生し、多くの皆さまにご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。今後全社一丸となって再発防止と信頼回復に向けて邁進し、誠実に透明性の高い事業活動に取り組んでまいります。

さて、最近の世界情勢を見渡しますと、米国、中国、ロシア、中東など世界中で自国第一主義が強まり、国際社会は一層の混迷を深め依然として先の読めない不安定な状況にあります。価値観も一層複雑、多様化し、地政学リスクに拍車がかかり、企業の事業活動においても様々な課題に立ち向かう必要性が益々増してきています。このような予測が困難で不透明な世の中においてこそ、強いリーダーシップと価値観を共有した強い組織が求められる時代であると思います。当社もまた、社会の一員として果たすべき役割を明確に設定し、持続可能な未来の実現に向けて行動する責任があると考えています。従業員一人一人の自律的な行動と継続した挑戦で、社会の変化に迅速に対応していくこと、そして、世界の大きな流れを見据えた事業成長を加速させることが必要と感じています。

2024年度からスタートしました中期経営計画「New Frontier 2026」(NF2026)においては、昨年、開始の節目として、社長COOの交代を含む経営体制の世代交代を行いました。また、当社の歩みの中で培って来たビジョナリー経営をより追求し、今年度より新たに「Well-Being経営」を加えています。社員が真のやりがいを持って仕事に取り組み、我々のエネルギーが周囲に伝播することで、社内外のあらゆるステークホルダーとの間でWell-beingが作り出されると考えています。NF2026は「ステークホルダーの最高満足に向けて新たな価値創造に邁進する」という視点に立ち、半導体に代表される成長産業の景況を見据えた今後の市場拡大に備える施策を実施し、収益力の強化と持続的な成長を支える技術基盤構築に取り組んでまいります。

当社は創業以来、パイオニア精神を大切にし、社会に貢献して参りました。研究・商品開発の分野においても単なる技術の追求にとどまらず、社会の本質的な課題に向き合い、真に価値あるソリューションをお届けし、社会全体にとって必要不可欠な存在となることが、需要家の皆さまや社会の期待に応え、より良い未来を創造していくことに繋がるものと思っています。2027年の創業100周年、そしてその先の未来に向かう上で、正しく考え行動する原点に立ち返りながら、バルカーグループの目指す姿と活動を、社会課題の解決、サステナビリティへと繋げて行くべく、変革への挑戦を続けてまいります。

最後になりますが、今後とも更なるご支援と一層のお引き立てをお願い申し上げますとともに、読者の皆さまの益々の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。